年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年　　4 月　15 日
● 事　業　名　：子どもの居場所とネットワーク推進事業
● 資金分配団体　：公益財団法人長野県みらい基金
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人子ども・若者サポートはみんぐ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1 小中学校不登校児童生徒の居場所が生まれる。	子ども・若者の居場所設置数	上伊那地域の学校外の居場所の調査とネットワーク形成	2022 年 2 月	上伊那 8 自治体で活動する団体とネットワークが生まれた。	1
1-2 小中学校不登校児童生徒の居場所において多様な支援を提供できる	① スポーツを通した日数 ② ゲームを通した居場所 ③ 体験活動を通した居場所	参加した子どもの満足度 70%以上 満足度を高める支援のポイントのまとめ	2023 年 2 月	参加している児童の満足度 70%以上	1
2-1 子ども食堂が上伊那地域の各地に生まれる。	子ども・若者の居場所設置数（実数把握）	上伊那地域子ども応援プットフォーム構成団体 40 団体	2022 年 2 月	コロナ感染拡大により休止となっているところも多いが、今	3

				後子ども食堂を立ち上げていきたいという団体から相談を受けている。	
3-1 生きづらさを抱える若者が自立に向けて学ぶ機会を提供できる	① 参加した若者の数 ② 参加者の満足度（アンケート調査）	参加者の満足度 70%以上	2022 年 2 月	参加者の満足度は 70%以上と高く、講座の継続を希望する人が多い。	3
4-1 地域の行政、学校、医療、産業、支援団体のネットワークを構築し情報を共有する。	① 連携した各分野の機関（団体）数（実数把握） ② 連携によって実現した企画数（実数把握）	① 支援機関の実数把握 ② 30 企画（年間 10 企画）	2023 年 2 月	① 調査中 ② コロナ感染拡大により連携する機会が得られなかった。	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告

1-1 小中学校不登校児童生徒の居場所が生まれる

・居場所「オルタ」（月・金）92 回　参加児童生徒数：500 人

・はみ×スポ（スポーツを通した居場所）（水・木・金）132 回　参加児童生徒数：799 人

・スタッフ会　14 回

・オルタ、はみ×スポの活動は定着して毎回充実した活動ができている。

・親同士の支え合いの会　48 回　参加者数：のべ 147 名（伊那　66 名、駒ケ根 57 名、中川村 24 名）

【つながりが生まれた団体】　辰野町「あかり」／箕輪町「ふじや」「つみきのいえ」／南箕輪村「信州あそびの杜学園いっぽ」伊那市「おるた」「フリーキッズ・ヴィレッジ」「伊那親の会」／宮田村「手づくり屋」「井戸端会議」／駒ケ根市「てんとうむしの会」「かたつむりの会」「まねき猫」飯島町「風の谷絵本館」／中川村「くらしごと」

1-2 小中学校不登校児童生徒の居場所において多様な支援を提供できる

・毎月 1 回は、お料理やお菓子作りの日を設けて子どもたちが主体となって、①何を作るか②材料③手順④係分担を決めて実施した。

・地元の花屋さんに講師となっていただき花壇づくりや日々の花壇の世話をしたり、アート活動の先生に来ていただいてマーブリング体験をした。

・地元の木彫作家さんの家で燻製作り、焼いも大会、ユカイナ広場（手作り遊具がある広場）の整備等をおこなった。

・駒ヶ根のはみ×スポでは、宮田村のふれあい広場や駒ケ根高原での散策等自然体験、スキー、そり滑りを実施した。

3-1 生きづらさを抱える若者が自立に向けて学ぶ機会を提供できる

・若者に直接自立支援を実施することが難しくなったため、不登校の子どもを持つ親御さんに向けて、「アドラー心理学　12 のコミュニケーション講座を開催した。参加者 7 人　（延べ 84 人）講座を重ねるごとに、各自のものの見方、考え方の変容が促されると同時に参加者同士の信頼関係が深まり、今後の支援活動につながる仲間づくりができた。

4-1 地域の行政、学校、医療、産業、支援団体のネットワークを構築し情報を共有する。

・コロナの感染拡大が続くからこそ、上伊那各地の横のつながりや、企業、民間、行政の連携が必要だという共通認識はできたが、なかなか会議が持てず、具体的な活動に移せなかった。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・居場所の活動等に際しては、毎回、健康チェック、検温を実施し、マスクの着用、手指の消毒、換気を徹底した。 ・12 のコミュニケーション講座の開催にあたっては、コロナ感染拡大の場合は、オンラインに切り替えることを事前に告知して開催した。参加者の希望により、対面での開催を続けたが実施に当たっては、居場所同様に感染防止対策を徹底した。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・2022 年 2 月 24 日　長野放送　休眠預金紹介番組 2.広報制作物等 ・にじいろ通信　第 4 号 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

☐全て公開した　☑一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： 団体としての組織基盤がまだ整っていない面があり、規約の策定が遅れている。今年度の総会には必要な規約を整え公開する予定。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　☐外部に窓口を設置　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）